

Feng-Shui Gallery

special edition vol.70

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『居室ごとに考える色彩の働き』



<2>



<1>



<3>

【写真1】 温もりを感じる黄色の壁面に囲まれたキッチン空間。黄色は、希望や前向きな感情を与えてくれますので、キッチンやダイニングなど、家族団欒の空間に適した色彩です。水廻り周辺の家具やキッチンカウンター天板の白色は、空間イメージに清潔感をプラスしてくれます。**【写真2】** ダイニングは食事はもちろん、家族とのコミュニケーションをとって心身ともにエネルギーをチャージする空間です。活力を高めるとい意味で、オレンジ色はとても適した色彩です。**【写真3】** 寝室のラベンダー色や紫系の色彩は、安眠の手助けをしてくれます。ラベンダーはアロマも眠りには適しており、色彩+香り（視覚+嗅覚）の働きでより空間の質を高めることができます。**【写真4】** 書斎やオフィス空間には、ブルー系の色彩を用いて脳の沈静化を図ります。集中力が増し作業が効率的になるでしょう。**【写真5・6】** トイレや洗面所は、寒さを感じさせない暖色系の色彩を用いると良いでしょう。水廻りは「陰」の気がたまりやすい場所なので、明るく清潔に、整った空間の維持を心がけると良いでしょう。



<6>



<5>



<4>



【大写真】 大きな曲線の玄関かまど（1段上がった部分）が印象的な玄関ホール。優しい色使いと曲線のデザインが相まって、訪れた人を包み込むような安心感を与えてくれます。お出迎えの空間にはリラックスできる色彩が適しています。

部屋ごとに色彩を変える そうすることで、色彩情報により脳の働きが 無意識に切り替わる

人が五感で感じ取る情報のうち、視覚情報はその大部分を占めます。それぞれの部屋に適した色彩を施すことで、その色は情報として脳に伝達され「寛ぎ」「団欒」「落ち着き」などの気持ちにさせてくれます。